

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームこうしゃ敬老園

作成日: 令和 3年 9月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	19	施設生活の中での様子や体調の変化等あった場合には連絡を入れているが、コロナ渦の感染予防や本人の認知症状の進行等もあり段々と家族と認識出来なくなっている。	利用者様には家族の顔を忘れないように、家族が来所の際には顔が見られる様にしていく。また家族の写真等、居室に飾る事も検討していく。	家族に於いては、施設での様子(1か月に1度の広報や生活の様子の手紙)が詳細に分かるような物を郵送し、受診の際や備品を持参した際等には感染対策をしっかり行い、玄関で少しでも顔が見られる様な環境を提供していく。	12ヶ月
2	21	利用者同士、合う合わないがハッキリしている。物を取り上げたり、投げつけたりという場面も見られる事がある。また大きな声で「〇〇はおかしい。」「変な事ばかりしている。」等言うしまう事もあり、時には言い合いにもなる事がある。	それぞれのストレス源が少しでも軽減し、また気があった利用者同士が楽しく過ごせるようにしていく。生活の中で、一緒に出来る作業等も考えて各自に提供が出来るようにしていく。	それぞれの言い分を聞きながら、お互いがストレスにならないように自席の配置やトイレの場所・入浴の順番等細かく気を配り、問題が生じた場合には職員間でしっかりと情報の共有を行い対応していく。	12ヶ月
3	35	以前、水害の際他事業所に避難した事があるが、グループホームの職員だけでは避難が困難で、他部署の職員に応援をしてもらった事があった。今後人員の人数や配置を詳細にし、スムーズに避難が出来るようにしていく必要がある。	何事にも迅速に対応が出来るようにする。早目の対応に心掛ける。又災害時の連絡のシュミレーションを実施する。	以前に避難した際の反省点を改善し、明るいうちに避難が出来るようにしていく。また、いつ・どういう状況で職員が動くのか、家族への連絡(帰所できる利用者の迎え)等しっかりと職員と家族が情報の共有が出来るようにしていく。	12ヶ月
4	48	毎日のルーティンが決まってしまっており、各々の張り合いや喜びのある生活が出来ていない。	時間を区切り、個別の対応をする。又楽しみや毎日の役割・自身の力を活かせる支援をしていく。各自にしたい事、したくない事を聞き無理強いしないように注意していく。	生活歴や好きな事・得意な事等を見直し、少しでも生きがいや役割を探す事で楽しみが持てるように取り組むを行っていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。